

通し番号 ー

第3編 3.2 一時停止制御 の改訂案

現行版 第6章 2. 一時停止制御 を踏襲，読みやすさのための修文を一部行った。

現行版の図は，図 6-2-6 を除いて改訂版でも番号を変えて使用する。

(改訂案)

3.2. 一時停止制御

3.2.1 優先道路と非優先道路の決定

一時停止制御には大別して2通りの方式がある。

第1は，流入路を優先道路と非優先道路とに分類し，非優先道路に対して一時停止を義務付ける方式である。第2は，全流入路に対して一時停止を義務付ける方式である。

~~第2の全方向一時停止~~方式は見通しが悪く，交通量が少なく，主道路と従道路の区別が明確でない細道路相互の交差点のみ適用され，他の大部分の場合には第1の方式が用いられる。全方向一時停止を濫用するとかえって遵守されなくなるおそれがあるので注意を要する。

非優先道路に対して一時停止を義務付ける方式では，流入路のうち，いずれを優先に，いずれを非優先にするかが~~一時停止制御における重要な決定事項~~である。道路幅員の差が大きく，かつ幅員の広い方の道路が明らかに主流交通である場合にはあまり問題なく決定できるが，そうでない場合には慎重な配慮を要する。

原則的には直進交通量の多い方向を主流交通とみなして優先制御すべきである。また，交通量の差があまり大きくなく道路幅員に差がある場合には，広幅員の道路を優先側とする方が運転者の直観と合致するので事故が少なくて済む。交通流の状況から幅員の狭い道路を優先とし，広い道路を非優先にしなければならぬ場合には，しばしば運転者の錯誤を招き，出合頭事故が多発する結果となることがある。そこで，~~ので，~~図 6-2-1 に示されるような方法によって，非優先側道路(車道)の幅員を狭くし，優先側道路の方が広く見えるようにするなどの工夫ことが必要である。

優先側と非優先側との道路幅員の差があまり明確でない場合にも，図 6-2-1 に示す方法は有効である。

図 6-2-1

3.2.2 道路構造上の制約とその対策留意事項

一時停止制御では，道路構造上の留意事項制約として，交差点の視認性距離，交差角，車線数の3つが重要である。

3.2.2.1 交差点の視認性距離

交差点の視認性距離については，平面交差全般に重要であるが，ことに一時停止交差点の非優先側流入路における交差点視認距離を確保することが重要である。必要な視認距離については 5.1 平面交差付近の道路線形 ~~第5章~~に詳しく述べられている。見通しの悪い平面あるいは縦断曲線部を出てすぐに一時停止があるというような状況は明らかに危険であって，出合頭事故や追突事故の誘因になるであろうことは容易に想像できる(図 6-2-2)。このような場合には，運転者の注意を喚起する意味で，図 6-2-3に示すような警戒標識 201-A(+形道路交差点あり)，201-C(T型道路交差点あり)等を設置するとよい。

図 6-2-2

図 6-2-3

3.2.2.2 交差角

交差角についても，安全確認の視認性という意味で非優先側流入路が優先側道路とできるだけ直角に近くなっていることが好ましく，非優先側流入路を図 6-2-4に示すように意識的に曲げてよい。ただし，交差点付近における非優先側道路の曲線半径はその道路の設計速度に対応した値以上とし，視距不足に注意しなければならない。この場合でも前述の図 6-2-2に示すような視距不足が生ずるとあれば，むしろ悪影響の方が大きいので強いて曲げない方がよい。

図 6-2-4

3.2.2.3 車線数

一時停止で制御される非優先側流入路は，図 6-2-5に示すように，独立した左折専用車線を除いて1車線のみでなければならない。そうでないと，直進車あるいは右折車が並進して危険である。広幅員道

路では、[図 6-2-1](#)に示したように交差点付近の車道幅員を狭くして1車線運用することが必要である。

[図 6-2-5](#)

3.2.3 一時停止制御実施上の留意事項

3.2.3.1 停止線

停止線を設置することはきわめて重要である。時として、一時停止標識よりも視認性に優れている。停止線の設置位置については[5.6 路面表示](#)第5章に述べられている。一時停止すべき停止線であることを強調するために「止まれ」の路面標示文字を[図 6-2-6](#)に示すように停止線の手前に設けることも効果的であろう。

3.2.3.2 一時停止標識

一時停止標識はできるだけ停止線の設置位置と同じ位置に設置する。標識と停止線の設置位置が違くと利用者が停止する時に混乱しがちである。

また一時停止を確実に行わせるために一時停止標識はよく見えるようにしておく必要がある。

一時停止規制を行う道路は一般に狭幅員の場合が多く、生垣などや建築限界の関係から特に視認性に劣るような位置に設置されることがあるが、たとえばオーバーハング式にするなどの方法によって、視認性を確保することが必要である。